

# 令和5年度 水稻の生育情報 No.1

令和5年6月1日  
農業経営課

## 1 気象概況

4月下旬～5月上旬は低温でしたが、全般的にはやや高温で推移しています。

	< 4月の平均気温 >		< 5月の平均気温 >	
岐阜市アメダス	15.7℃	(平年比+1.2℃)	20.1℃	(平年比+0.7℃)
恵那市アメダス	13.1℃	(平年比+1.2℃)	17.6℃	(平年比+0.6℃)
高山市アメダス	11.0℃	(平年比+1.3℃)	15.6℃	(平年比±0℃)

## 2 生育概況

表1－水稻の生育状況（令和5年5月12日時点）

品 種	田植時期	生育ステージ	項 目	生育状況	参考（6月1日）	
					平 年	前 年
あきたこまち	5月11日	移植直後	草丈 (cm)	－	22.4	22.4
			茎数 (本/m <sup>2</sup> )	－	76	68
			葉色 (GM)	－	32.5	－
			葉令	1.9	4.7	4.4
コシヒカリ	5月11日	移植直後	草丈 (cm)	－	25.4	23.5
			茎数 (本/m <sup>2</sup> )	－	93	73
			葉色 (GM)	－	30.2	－
			葉令	1.9	4.8	4.3
ハツシモ岐阜 S L	5月11日	移植直後	草丈 (cm)	－	26.4	26.1
			茎数 (本/m <sup>2</sup> )	－	84	67
			葉色 (GM)	－	31.5	－
			葉令	2.2	4.9	4.6

※岐阜県農業技術センター調

## 3 栽培上の留意点

### (1) 健苗の適期移植

根張りや苗揃いが良い健苗は植付後の活着が良好で、その後の分けつも旺盛なため穂数の確保が容易となります。

#### ①適正な栽植密度

品種の特性などを考慮したうえで栽植密度を決定する。密植は疎植に比べて面積当たりの茎数や穂数は多くなるが、有効茎歩合は低下する。やせ地・少肥栽培・早生品種・穂重型品種・晩植・寒冷地などでは密植とする。

表2－水稻の栽植密度の目安

1坪あたり株数	1 m <sup>2</sup> あたり株数	条 間	株 間
50 株	15 株	30cm	22cm
55 株	17 株	30cm	20cm
60 株	18 株	30cm	18cm

## ②植傷み防止

移植時に強冷風が予想される場合は植付を中止する。移植後に低温や強風が心配される時には、深水にして苗を守る。

## (2) 雑草対策

前作や水田内の雑草種子量を考えて、除草体系や除草剤を選択し、雑草の発生速度（葉齢）に合わせて使用時期を決める。一般的な除草剤は、土壤表面に薬剤成分の処理層を形成するため、代かき作業において水田の均平化を図ると共に畦塗りにより、水持ちを良くする。

特に、気温が高いと雑草の発芽や生育が早くなるので除草剤の使用適期を逸しないよう注意する。また、除草剤散布時及び散布後1週間ほどは湛水状態にしておき、かけ流しや落水をしない。

その後、水稻の生育期に雑草が発生してきた場合は農薬使用基準及び雑草の草種を踏まえ、中期除草剤を使用する。

## (3) 水管理

田植直後の湛水管理を終えると、根張りを良くすると共に根の活力を高めるため、落水と湛水を繰り返す「間断灌水」へと移行する。その後、有効茎数を確保したのち硫化水素などのガス抜きと同時に酸素供給を目的として「中干し」を行う。水管理は生育期間全般を通して、重要な管理作業となる。

## (4) スクミリングガイ（ジャンボタニシ）

近年では、暖冬年を中心にスクミリングガイの被害が目立ってきている。スクミリングガイは田植後の軟らかい苗を食害し、水田内の稲をほぼ食べ尽くしてしまう事もある。水田内では深水の場所で被害が多くなる。

前年に被害のあった水田では特に対策が必要となる。



図1 -スクミリングガイ成貝



図2 -スクミリングガイ卵塊

### 【防除対策】

- ・水口や水尻に目合5mm程度の網や金網を設置して水田内への侵入を防止する。
- ・移植後にメタアルデヒド粒剤、磷酸第二鉄粒剤などの薬剤を散布する。
- ・田植後20日間くらいまでに食害を受けるため、できるだけ浅水としておく。
- ・用水路の法面や畦畔にスクミリングガイの卵塊を発見した時は、卵塊がピンク色のうちに掻き落とし、水没させる。
- ・落水時期以降になると水路や水田内の水溜り部分に集まってくるため捕獲処分する。  
(捕獲する場合は必ずゴム手袋を着ける)